



たかやま

令和7年度 第7号

発行日：R7.11.17

発行元：高山小学校

文責：校長 東 忠孝

暦の上では冬になり、先週から一段と寒さが増してきました。昨年も「秋がない」という気候の変化が話題になりましたが、今年はさらにそれを強く感じます。急な気温の変化に山の紅葉が遅れ、それを楽しむこともできないまま冬になりそうです。インフルエンザも例年より一ヶ月以上早く流行が始まったというニュースが流れていました。県内でも閉鎖措置がとられている学校がいくつも出ています。二期も残り一ヶ月弱となりました。体調管理に気をつけて過ごしたいと思います。

大田市小中学校連合音楽会

十一月六日（木）、大田市市民会館において大田市小中学校連合音楽会が開催されました。

高山小学校は三年生から六年生までの十九名が参加し「すてきな一歩」（合唱）、「Paradise Has No Border」（合奏）の二曲を発表しました。九月中旬から、音楽の時間や朝の会、放課後を使って一生懸命練習してきました。休み時間にも自主的に練習したり家庭でも練習を重ねたりして本番に臨みました。

練習の成果があつて、当日、演奏前もあまり緊張していない様子もなく、ステージ上でも堂々とした演奏を披露していました。会場を出る時に教育長からも「高山小、よく声が出ていましたね」という評価をいただきました。



それぞれが自分の役割を果たすことで全体のまとまりと迫力が生まれ、合唱・合奏のおもしろさを味わうことができたと思います。最初はできなかったことが、努力によってできるようになった自分の成長を自信に、さらに力をつけていくことを期待しています。



授業公開、人権・同和教育講演会『生きる』と『ふりかへ』

高山小学校では、人権・同和教育をすべての教育活動の規定に据え、一人一人を大切にしたい教育活動の推進につとめています。その一環として十月の授業公開は人権・同和教育に視点をあてた授業を保護者・地域の方に見ていただきました。

人権・同和教育講演会では、『生きる』ということと題して、松江市で啓発団体「源氏蛍の会」代表として活動されている三浦成人さんにご講演いただきました。被差別部落に生まれ、差別に苦しめられたことや自分のとった行動に対する後悔、差別に対する思いを熱く語られ、「生きる」ということがどういうことか、これからどう生きていくかを考えさせられるお話でした。



宿泊研修（五、六年）

高山小学校では、隔年で大森小学校と合同で修学旅行と宿泊研修に出かけます。今年度は国立三瓶青少年交流の家で一泊二日の宿泊研修を行いました。「やりきる」「ふるまい」「集団行動」をめあてとし、様々な研修活動を通して、成長できたことと思います。交流の家のルールの中で生活し、それぞれが役割を

大田市小中学校連合音楽会



